

引火奴ノ代リニ用キシ菌ノほくちたけ

方言あづさト云木ノ腊葉ノ出品アリシ事アリ其圖ヲ見ルニ此みずめニ外ナラズ

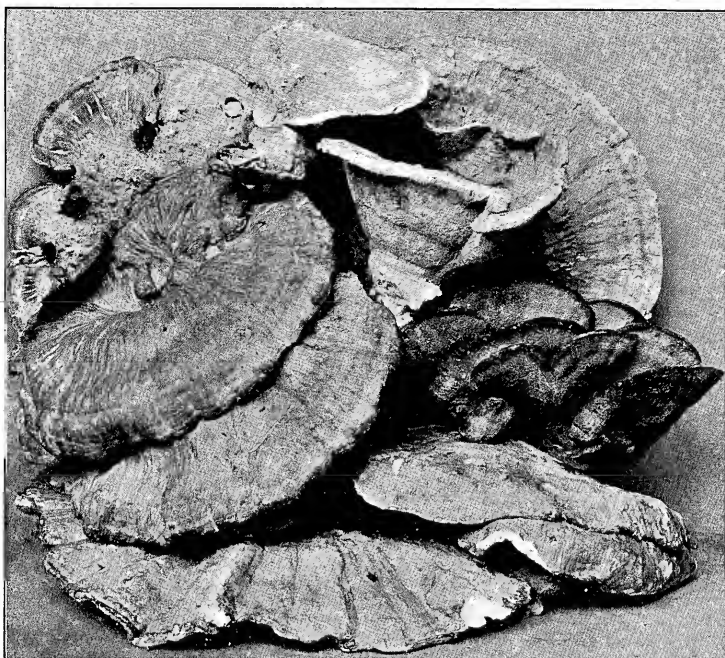
さざらげニハ現今本邦ニ栽植セラル、モノ尙二種アリ一ハあめりかさざらげニテ學名ヲ *Catalpa bignonioides* WALT. ト云ヒ一ハはなざらげニテ學名ヲ *Catalpa speciosa* WARDER. ト云フ何レモ北米合衆國ノ原産ニシテ共ニ其莢ハ本邦産ニ比シ頗ル大ナリ、尙あづさニ就テハ植物學雜誌第二百五十八號ニ予ノ説アリ

## ○引火<sup>ホク</sup>奴<sup>チ</sup>ノ代リニ用キシ菌ノほくちたけ

理學博士 川 村 清 一

日本ニ昔カラほくちたけト稱ヘテ其實ガ輕クテ引火シ易イ爲メ昔まっちノ無イ時代ニ引火<sup>ホク</sup>奴<sup>チ</sup>ノ代リニ用ヒラレタノデソレデ此名ガアル菌ガアル、此菌ハ多孔菌科ニ屬シ學名ヲ *Polyporus sulphureus* (BULL.) FR. (= *Polyporus caudicinus* SCHAFF.) ト云ツテ最も多クノ場合みづならノ樹ノ枯死セルモノニ多數相重ツテ生エル無柄ナ菌デアアル、多孔菌科デアツテ樹ニ生エル點ハ俗ニちるのこしかけト云フ諸種ノ *Fomes* 屬ノ諸菌ト同様ナ生態ヲモツテキルガ *Fomes* 屬ノ菌ハ生ノ時デモ相當ニ硬ク乾燥スルト木材ノヤウニ堅クナツテ鋸デナクテハ切り難イヤウニナルノニ反シ本菌ハ生ノ時ハ軟クテ煮テ食用ニ供スルコトガ出來乾燥スルトころノ様ニ軟クオマケニ彈力ノナイ押シツプセル質ノモノトナル、生ノ時ハ色ガ鮮カナ黃色デ蓋ノ表面ハ少シ赤味ガカツテキルガ之ヲ切ツテ見ルト肉ハ淡紅色デアアルカラ一ニますたけト呼ブノデアアル、實際此菌ハ鱒ノ居ル東北地方ヤ山間ノ地ニ多ク生ズルシ肉ノ色ガ紅クテ食用ニスル所カラますたけト云フノハフサワシイ名デアアル、學名ノ *Polyporus sulphureus* (BULL.) FR. ハ其色ニ因デ硫黃ノ義ヲ用キテアルカラコレモ適當ナ名稱デアアル、即チ生ノ時ニ見ル本菌ハ軟肉質デ多量ノ水分ヲ含ミ色ガ黃色又ハ淡橙黃色(肉ハ淡紅色)デアアルモノガ枯死乾燥スルト輕イ白イモノト變ツテほくちたけト呼バル、モノトナルノデアアルカラ多クノ人ハますたけトほくちたけハ全然別物ト

引火奴ノ代リニ用キシ菌ノほくちたけ



ほくちたけ *Polyporus sulphureus* Fr.

大正十四年八月飛騨高山市中ノ店ヨリ牧野富太郎氏ノ買ヒ來リシほくち代用ノ乾品、種々重ネテ撮影ス

思ッテキルデアラウ

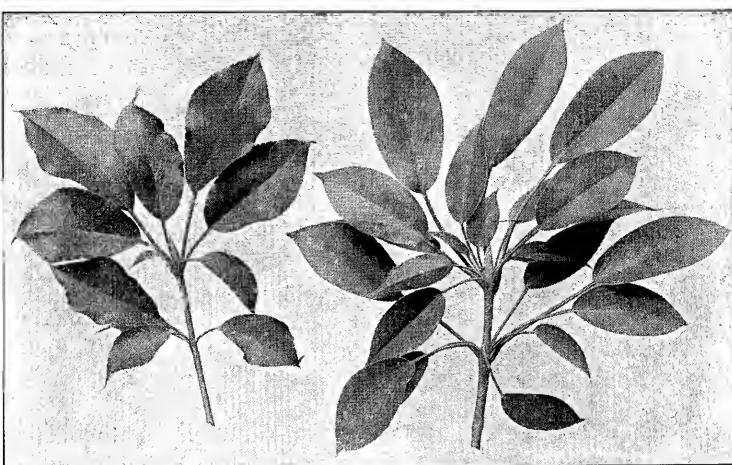
私ハ本菌ノ生ノ色ノ鮮明ナモノヲ彩色  
圖ニ寫生シテ保存シテキルガ其時ノ材  
料ハ日ニ干シテ乾燥セシメ白イほくち  
たけニナツタモノヲモ標本トシテ所持  
シテキル、輕クテキメノ粗ナル菌ダケ  
ニ塵ガ附ケバヨゴレテ鼠色ニナルカラ  
山民ガ保存シテキルモノハ白クナクテ  
鼠色トナツテキルノガ多イコレモ標本  
ノ一ツトシテ共ニ所持シテキル、火ヲ  
附ケテ試験シタコトガアルガ性極メテ  
引火シ易クテ徐々ニ燒ケ込ンデ行ッテ  
容易ニ消エナイカラ烟草ヲ吸フノニハ  
大線香以上ノ効能ガアルト思ッタ  
此菌ヲ飛驒デヒゴケト呼ブト云フ事ガ  
曩ニ牧野先生ガ飛驒デ採集セラレテ私  
ニ送ラレタノニヨツテ判明シタ、こけ  
ハ普通ハ蘚苔類ヲ指ス言葉デアアルガ北  
陸道及ビ飛驒デハ茸類ノコトヲ一般ニ

引火奴ノ代リニ用キシ菌ノほくらたけ

こけトイッテキル先年越中越後ノ國境ノ山寺デ多數ノ僧侶ガ集會シテ手料理デ御馳走ヲ拵ヘ喰ツタ後何レモ一時ニ中毒シテ大騒ラシタ事ガアツテ丁度私ガ菌採集ノ爲メ越後地方ヲ旅行中デアツタガ櫛櫛ニ生エタひかりごけヲひらたけト誤ツテ喰ツタノダト云フ事デ就テ調べルト月夜茸ノコトデアツタ、發光性ナル月夜茸ヲひかりごけト云ツテ「光る茸」ト云フ意味デ俗稱シテキルコトヲ知ツタ此名ハ意義カラ云フト菌ニフサハシイ名デアルガ茸ノコトヲこけト呼ブカラ薺類ノひかりごけト同一ノ名トナツテ彼此混同スル憂ガアルガ、此ひごけモ亦薺類デハナクテ火茸ノ意味デアルコトヲ承知シテ置カネバナラヌ

次ニ植物書ヤ醫學、藥學ニ關スル現代ノ書中(植物學雜誌第二六五號中、安田篤氏ノ菌類雜記ニモ)ニ往々ほくらたけノ名デ藥用ニ供スル菌ノ一ツトシテ記サレテキルモノハコレハ多孔菌科デアアルコトハ同ジデモ全然異ツタ所謂さるのこしかけノ一種タル極メテ堅クテ其儘デハ如何ニ乾燥セルモノデモ火ノ容易ニ附カナイ、附イテモ火ノ消エ易イ性質ノ菌デ學名ヲ *Fomes fomentarius* (L.) Fr. トイフモノデアアル、此菌ヲほくらちニ製スルニハ管層部ヲ去リ内部ノ比較的柔カナ部分ノミヲ取り之ヲ水中ニ煮沸シテ後打チ延シ輕鬆ナモノトシテ之レヲ硝石ノ溶液ニ浸シ干シテ製スルノデアアルガ斯クシテ昔西洋デほくらちニ用キラレキタト云フノデ西洋ノ名稱ヲ直譯シテ和名ヲほくらちたけトシタノニ過ギナイノデアアルガ日本デ昔カラ呼稱シテキル本來ノほくらちたけガアツテ混同スル憂ガアルカラ斯ノ如ク和名ヲ外國名ノ直譯デ製造スルコトハ注意ヲ要スルコトデアアルト愚考スル

ストラスブルガー氏ノ植物教科書ノ和譯ガ出來タガ其中ニモ學名 *Boletus edulis* Bur. 和名やまどりたけナル菌ヲ獨逸ノ通俗名 *Stein-Pilz* ト云フノヲ直譯シテ石菌トシテアルガコレハ日本デ昔カラやまどりたけト云ツテ食用ニシテキルコトヲ知ラナイデ勝手ニ石菌ト譯シタノデアアツテ石菌トハコレ亦日本デハ本草書ニ昔カラいはたけ(地衣ノ一種デ食用ニスルモノ)ノコトヲ指シテ一般ニ用キラレテ居ルノデアアルカラドツチニシテモ *Stein-Pilz* ヲ石菌ト直譯スルノハ不都合デアアル宜シク訂正シテモライタイモノト思ツテキルノト直譯名ノほくらちたけ



やまぐるま

ながばやまぐるま

トハ好一對ノ外國名ノ直譯ガ不可ナル例デアルト思フ  
 扱話ガ元ヘ返ッテ西洋ノほくらたけハ日本ニモ普通ニアル菌デ古來  
 さるのこしかけト總稱セル一ツデ特ニ其種ニ對シテノ名ガナイカラ  
 私ハ其形カラ見テつりがねたけト名附ケタガ普通榊樹ノ枯レタルモ  
 ノニ多數發生スル、藥用ニスルノハ前記ノヤウニ水デ煮沸シテ打延  
 バシテ綿ノヤウニシタモノヲ外科術ニ於テ負傷部ヲ洗滌スルニ用ウ  
 ルノデアッテ西洋デハ *Fomes officinalis* Fr. ト共ニ醫藥用ノ多孔  
 菌トシテ知ラレテキル、此 *Fomes officinalis* Fr. ハからまつノ枯木  
 ニ生ズル苦味アル菌デ和名ハえぶりこ又ハたうぼしト云フ、日本デ  
 ハ桑樹ニ生ズル *Fomes rimosus* Berk. ナルめしまこぶ即チ桑黃モ  
 亦利尿劑トシテ漢方藥ノ一ニスル

### ○やまぐるまながばやまぐるま

理學博士 中 井 猛 之 進

私ガ昨秋歸朝スルト直ニ諸方カラ日本植物ニツキ雜多ノ審問ヲ受ケ  
 マシタガ其中ニ東京帝大小石川植物園ノ松崎氏カラ園ニやまぐるま  
 ガ二種アッテ不明デアルカラトノ話ヲ受ケタノデ同氏ト同行シテ行  
 ッテ見ルト成程全ク異ナル二種ガアル、東京デ此二ツヲ並べ見ルコ  
 トガ出來ルコトハ珍トスベキモノ故茲ニ兩種ノ別ヲ明ニシテ置ク